

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 20.5.30 第 169 回国会第 21 号

5 月 30 日、第 21 回の委員会が開かれました。

- 1 特定船舶の入港の禁止に関する特別措置法第五条第一項の規定に基づき、特定船舶の入港禁止の実施につき承認を求めるの件（内閣提出、承認第 2 号）
- ・冬柴国土交通大臣、大野内閣官房副長官、中山外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり承認すべきものと決しました。
- （賛成 - 自民、民主、公明、国民 反対 - 共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

鷲尾 英一郎君（民主）

- ・官房長官の記者発表の中で、以前は拉致問題が核問題より前に言及されていたが、今回の記者発表ではその順序が逆になった理由はなぜか。
- ・米国が北朝鮮に対するテロ支援国家指定を解除した場合に、どのような影響があると考えているのか。
- ・入港禁止措置の対象船舶についての見直しを行う必要性について、どのような見解を持っているのか。

川内 博史君（民主）

- ・拉致問題について、提案理由説明には入っているのに、閣議決定には言及されていない理由はなぜか。
- ・次回閣議決定を行う際には、拉致問題についても明示する必要性について、大臣はどのような見解を持っているのか。
- ・日中首脳会談における、拉致問題についての総理及び胡錦濤中国国家主席の発言はどのようなものであったのか。

後藤 齋君（民主）

- ・北朝鮮船舶の入港禁止措置による効果について、どのように評価しているのか。また、入港を禁止する特定船舶を、北朝鮮籍の全ての船舶に拡大してから、どのような状況変化があったのか。
- ・国際海事機関（IMO）の船舶識別番号は船籍が他国に移っても変わらないため、IMO に資料要求するなどして、北朝鮮船舶が船籍を他国に変えていないか状況を把握する努力をすべきではないか。

穀田 恵二君（共産）

- ・昨年 10 月の六者会合で約束された事項について、期限は守られていないものの、前向きに動いていると見てよいのか。
- ・中韓首脳会談及び米朝協議では、どのような論議が行われたのか。

- 2 領海等における外国船舶の航行に関する法律案（内閣提出第 47 号）（参議院送付）
- ・冬柴国土交通大臣から提案理由の説明を聴取しました。